

生活社会教育コース(社会科教育系) 履修モデル

※つきの科目:2019年入学者の科目です。 かつきの科目(教育課程と学力形成):2018年以前入学者の科目です。

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		その他のメッセージ
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
人間形成科目部門	生活と健康I・生活と健康II 【大学基礎・キャリア形成科目】		別表2						
語学教育科目部門	英語A・英語B 【未習外国語】初級I・初級II		【英語】 【語学科目】		別表3・4・5・6・7				
教養教育科目部門	日本国憲法		【教養発展科目】※				別表13-1		
選択科目	【人文科学】【社会科学】【自然科学】【健康科学】1科目ずつ選択(8単位)						別表1		
全学共通教育科目から自由に2科目(4単位)選択 自発的教養科目や国際理解科目も含まれます。									

得られる能力:

人や社会への関心、他者との協働、教職への熱意、教職教養、子ども理解、授業力・実践的技能、教科等の専門教養、持続的変態力
社会科を学び研究する力、教材研究や授業づくりに関する能力

卒業後の主な進路:

小学校教諭、中学校教諭、
高等学校教諭、進学(教職大学院等)

学部共通	高卒業要件(地域に加え、公民の1種、小1種の免許取得も3、4年の履修を次第で取得可能なモデルになります。)	学部共通科目		第2表						その他のメッセージ
		情報科学入門及び実習 初等理科実験	現代教職論 生涯発達教育心理学	教育の現在 児童心理学	教育課程臨床論	特別支援教育論※ 教育課程と学力形成 ‡	青年期心理学	学校制度・経営論		
教育の基礎理論 教職の意義等 教育課程に関する科目										能の社 をた 身め にに は、 得 手 に 履 修 が 大 切 に な り ま す 。 計 画 的 に 履 修 を し て く だ さ い。
生徒指導、教育相談及び 進路指導等に関する科目		道徳教育指導論	学校教育相談論	総合的な学習の時間の 指導法※ 授業分析論 学校臨床心理学	特別活動論					
教育実習 教職実践演習		第5表-1、2			教育実習(小または中) 授業設計論	教育実習(中または小) 授業実践論		教職実践演習		
教科の指導法に関する科目		初等社会科教育学 初等家庭科教育法 初等理科教育学	初等数学科教育学 初等音楽科教育学 初等国語科教育学 初等図画工作科教育学		初等外国語科教育学※		教科指導法科目	第7表-1、2		
教科に関する科目		家庭科内容論 社会科内容論	理科内容論	教科専門科目(小学校)	第8表	生活科内容論	音楽科内容論			
専門科目			法学概説 地理学概説 哲学概説 日本史 経済学概説 政治学概説 社会学概説 日本史概説 外国史概説	経済学講読I 地誌学 倫理学概説 法律学講読I 社会調査法 日本史特殊講義 西洋史	経済学講読II 社会科教育学概説 社会学講読	哲学倫理思想史 地理学実験 社会科課程論 東洋史 法律学講読II 社会科教育学研究法 自然環境学	社会科授業構成論	コース専門科目	第12表	
資格に関する科目	資 格 連 関 連 を 充 野 に 充 実 さ せ た 。	第15表				学習指導と学校図書館 学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成	情報メディアの活用 読書と豊かな人間性		卒業論文	
日本語教員		日本語教育概論	日本語教授法 日本語の音声・音韻 日本語の文法 日本語の文字・表記・語彙	社会言語学	言語習得論/言語心理学		日本語教育実習I	日本語教育実習II		
				その他の取得可能な教育職員免許状及び資格						